

授業科目	*キリスト教と西南女学院のあゆみ					実務家教員担当科目	-				
単位	1.	履修	必修	開講年次	1	開講時期	前期				
担当教員	浅野 嘉延										
授業概要	<p>この授業は、西南女学院の歴史を知り、創設者をはじめ主要な宣教師たちの働きや精神を学ぶことから、建学の精神「感恩奉仕」について理解を深め、「西南女学院生」としての自己形成を深めることを目的とします。</p> <p>日本におけるキリスト教に基づく女子教育について概観した上で、各回では主に、西南女学院の発展のために主要な働きを担った人物を取り上げ、その人生や信仰・思想を学ぶことにより、受講生が西南女学院で学ぶ意義を発見していきます。</p>										
授業形態	講義				授業方法						
学生が達成すべき行動目標											
標準的レベル	<p>キリスト教に基づく女子教育の意義を理解した上で、西南女学院の歴史を知り、建学の精神「感恩奉仕」について理解を深めることができる。</p> <p>1. キリスト教に基づく女子教育の意義を理解し説明できる。(DP1-1) 2. 西南女学院の歴史を知り、建学の精神「感恩奉仕」について理解を深めることができる。(DP1-1) 3. 設立者や宣教師たちの精神と働きを学び、「西南女学院生」としての自己形成を深めることができる。(DP4-1)</p>										
理想的レベル	標準レベルに加え、設立者や宣教師たちの精神と働きを学び、「西南女学院生」としての自己形成を深めることができる。										
評価方法・評価割合											
評価方法		評価割合(数値)					備考				
試験											
小テスト											
レポート		20%									
発表(口頭、プレゼンテーション)											
レポート外の提出物		80%					クラスポートフォリオ				
その他											
カリキュラムマップ(該当DP)・ナンバリング											
DP1	○	DP2	-	DP3	-	DP4	○	DP5	-	ナンバリング	WE10103J NT10103J
学習課題(予習・復習)										1回の学習目安(時間)	
授業で示された文献などを読み、興味や関心、疑問点、授業外で調べたこと等をノートにまとめる。										4	
授業計画											
第1回	オリエンテーション キリスト教に基づく女子教育とは										

	担当：浅野嘉延・東彩子
第2回	西南女学院設立を現実とする為に戦った クラーク夫妻の信仰と生涯 外部講師：Russ Borg
第3回	西南女学院創設者 J. H. ロウの偉業 外部講師：Russ Borg
第4回	西南女学院第二代院長 M. L. ボールデン夫人の日本での働き（オンデマンド） 外部講師：Russ Borg
第5回	建学の精神「感恩奉仕」と西南女学院 担当：神崎 明坤
第6回	危機の時代の救済者、吉田敬太郎の信仰と生涯 外部講師：永町友恵
第7回	西南女学院とキリスト教音楽 担当：金谷めぐみ
第8回	WMU 総主事キャスリーン・マロリーの生涯 担当：東彩子
テキスト	配布プリント
参考図 書・教材 ／データ ベース・ 雑誌等の 紹介	W. M. ギャロット『要』（西南女学院創立 50 周年記念） 『西南女学院 70 周年史』 『丘の上の灯：原松太「自叙伝」からの抜粋』（西南女学院創立 90 周年記念） 湊晶子『今、あえて何故女子教育か』（2009） Mary Neal Clarke : Letters from Lucile ~life and letters of Lucile Daniel Clarke(2005) Ussery, A.W., & Hunt Alma : The Story of Kathleen Mallory(1956)
課題に対 するフィ ードバッ クの方法	各課題については Google Classroom より採点し、返却いたします。
学生への メッセー	授業で紹介する文献やインターネットのサイトにあたり、自ら学びを深め、 まとめのレポート執筆に向けて、知識を積み重ねていくようにしましょう。

ジ・コメ
ント